

湯川だより



第26号 2016/4/25
発行：御代田町 町民課
【佐久市・北佐久郡環境施設組合】

～安定したごみ処理の実現と新クリーンセンター整備に向けて～

住民合意形成に向けて「面替区臨時総会」開催

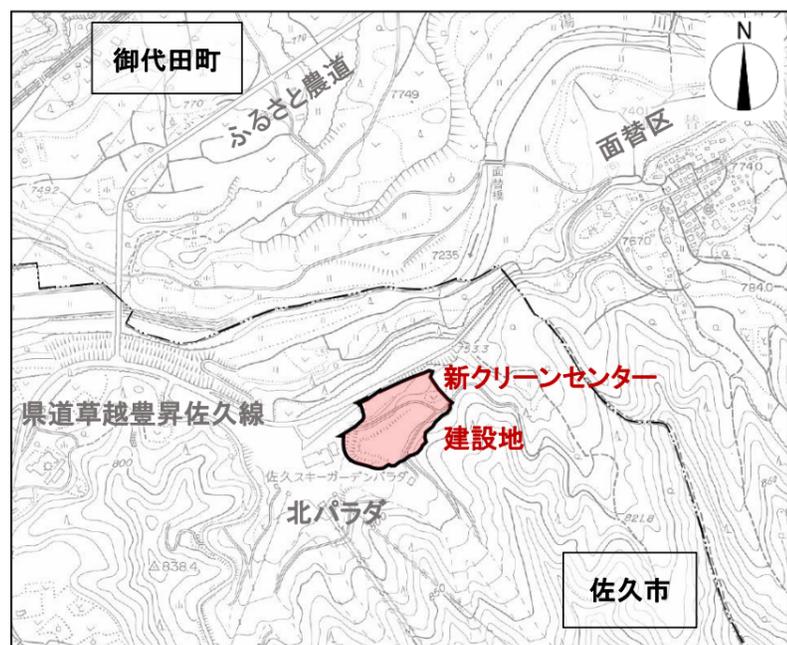
平成28年2月7日、面替区公民館にて、平成28年第1回臨時総会が開催され、新クリーンセンター整備の事業体である佐久市・北佐久郡環境施設組合、組合組織市町である御代田町が同席する中、第1号議案として「新クリーンセンターに係る地区協定書(案)について」が審議されました。

今回の建設同意に当たる「地区協定書(案)」に係る協議は、昨年8月から約半年の時間をかけ、2月7日の臨時総会に至りました。

冒頭、茂木町長のあいさつでは「この5年間、新クリーンセンター整備に向けた1つ1つの課題を何とか解決していくことができました。これは面替区の生活圏において施設が計画されるという極めて複雑な心境の中、区の皆様におかれましては、私を曲げ、またお気持ちを抑えていただきながら、町全体のごみ処理を始めとする佐久地域全体の安定的なごみ処理の実現に向け、寛容なる精神をもって献身的に私共の話しに耳を傾けていただいた区民の皆様のご理解と御協力の賜であると深く認識しております。また、昨年は、新クリーンセンターに係る面替区からの地元要望に対しまして、御代田町としての回答書を提出させていただきました。町といたしましても、この回答書に記載をさせていただきましたとおり、確実に面替区の要望事項を実施していく考えであります。」と述べました。

新クリーンセンターは、佐久市上平尾字上舟ヶ沢及び棚畑地籍の佐久スキーガーデンパラダ北パラダ第3駐車場付近一帯を建設地とし、面替区の集落からわずかな距離に位置しています。

ごみ焼却施設というイメージが区の限界集落化を決定付けるのではないかと、施設の稼働が良好な周辺環境に影響を与えるのではないかとした声があり、合意形成に当たっては5年間慎重かつ丁寧な歩み寄りが続けてまいりました。



▲新クリーンセンター建設地 位置図

「新クリーンセンターに係る地区協定書」締結



▲新クリーンセンターに係る地区協定書への署名、調印の様子

平成28年3月10日、面替区茂木重幸区長と柳田清二組合長による「新クリーンセンターに係る地区協定書」の調印式が佐久市役所にて執り行われ、冒頭の調印者あいさつでは柳田組合長より「組合組織市町の1市3町を始め、佐久地域10市町村の安定的なごみ処理を担う新クリーンセンターを受入れていただく面替区の皆様の尊いご決断に対し、深甚なる敬意を表するとともに衷心より感謝を申し上げます。」と御礼を述べました。

続いて茂木区長からは「随分と長い道のりで本当に大変であった。本日ここに調印式を迎えることができ、一段落という心境であると同時に、これまでの間、面替区の皆さんが広い間口で柔軟な対応をしてきたことを再認識しております。また伍賀地区と平根地区は一つの地域として非常に結びつきの強い地域、これまで以上に強い結びつきができ、共に発展していけることを願います。」と面替区と周辺地域への思いを言葉にされました。



▲調印者(前列) 柳田組合長、茂木区長 : 立会人(後列) 小池副組合長、荻原副区長

また面替区と組合の調印式に先立ち、平根地区新クリーンセンター・温浴施設建設対策協議会、佐久市平根地区区長会(横根区、上平尾区、下平尾区)及び紅雲台区並びに柳田組合長を調印者とする地区協定書の調印式が挙行政、3月10日付で面替区及び佐久市平根地区からの地元建設同意にあたる地区協定書がそれぞれ締結となりました。

組合では施設の受入れに対する関係住民の皆様の思いに寄り添い、相互の信頼関係を構築していくことが大変重要であると認識し、施設の建設及び運営に当たり、安全、安心かつ安定した施設運営に努めていこう、地区協定書に記載された環境保全を主旨とした各協定事項を厳格に遵守してまいります。

新クリーンセンター整備事業に係る入札公告について

佐久市・北佐久郡環境施設組合では、面替区及び佐久市平根地区との新クリーンセンターに係る地区協定書の締結を受けて平成28年3月14日付で新クリーンセンター施設用地造成工事、また施設建設・運営事業者の選定に係る入札公告を行いました。

平成 28 年度 佐久市・北佐久郡環境施設組合事務局職員体制について

組合組織市町における平成28年4月1日付の人事異動によって、組合事務局の職員体制が変更となりましたので、お知らせをいたします。

3月31日をもって、派遣解除となる職員は、佐久市派遣職員の工藤会計管理者が退職、また、同じく佐久市派遣職員の武者局長補佐兼建設係長及び総務係小林主任並びに御代田町派遣職員の建設係櫻井主査がそれぞれ派遣解除となりました。なお、平成28年4月1日以降の現行職員体制については下表のとおりです。新体制のもと引き続きよろしくお願いたします。

係名・職名・派遣元組織市町		4月1日以降		派遣解除職員	
		氏名	職名	氏名	職名
会計管理者		佐久市	大森 一	会計管理者	工藤 光司
事務局	局長	佐久市	青木 源		
	係長	軽井沢町	岩井 和成		
総務係	主任	佐久市	依田 佳子	主任	小林 英樹
	係長(技師)	佐久市	高橋 豪	補佐兼係長	武者 泰雄
建設係	主任(技師)	佐久市	渡辺 英俊		
	主任	佐久市	大井 喜幸		
	主査	御代田町	小山 ゆう子	主査	櫻井 優祐
	主査	立科町	中村 惇志		

また佐久口碑伝説集北佐久編(佐久教育会発行)に「昔、京都のお侍が浅間山に登って佐久平を見渡し、麓に見る目に疑うような美しく澄んだ池が七つ見えた。感激のあまり七玉と云う歌を詠み、それからこれらの池を七玉の池と云うようになり、飯玉の池、塩野の和久玉、小諸市平原の赤沼が知られている」とも記述されていました。

その後、軽井沢町の中山道「追分宿」にある古本屋に立ち寄った帰り道、北国街道との分岐を示す道標がある分去れを車中から見ていると、昭和40年代から50年代



にかけてかぐや姫や風で活躍した伊勢正三さんが作詞作曲し、イルカさんが歌う「なごり雪」がカーステレオから流れ、分去れの光景が別れと出逢い、そして旅立ちのこの季節に何か重なるものを感じました。昨年の暮れ、娘と行った伊勢正三さんのコンサートで「信州は、鹿曲川など千曲川の支流で溪流釣りによく来ていて、特に佐久はお酒が美味しいね」と話が出て嬉しく思ったことを思い出し、佐久の美味しい水からお酒を仕込む十三の酒蔵をこれからも訪ねたいと思いました。(む)

編集後記

『地域住民の皆さまと共に歩む新クリーンセンター整備を目指して』

3月、4月は卒業、入学、就職、新年度や新生活の始まる季節です。組合事務局においても、職員の人事異動に伴い、新たな職員体制で、新クリーンセンター整備事業に取り組んでまいることとなりました。今号より「湯川だより」の編集担当も引継ぐことになりましたので、新たな仲間と励まし合い、競い合いながら、1つの目標に向かってまい進できる関係を築いてまいりたいと思います。本年度は、新クリーンセンター施設用地造成工事が始まる年であり、それに基づく環境保全措置や事後調査も本格的に実施されることから、きめ細かな情報発信を、一層心がけ、地元地域住民の皆さまとこれまで通り地域に寄り添った形で歩みを共に進めていけるよう努めてまいります。

平成28年4月 湯川だより編集担当 小山

ちょっとそこまで♪

酒蔵の仕込水、牧水の歌碑、飯玉の池、そして追分の分去れ…



御代田町観光キャラクター みよたん



お彼岸中日の3月20日、佐久市望月と立科町茂田井の境に位置する中山道「茂田井間(あい)の宿」で年に一度開放される酒蔵を見学していると、お酒の仕込水である蓼科山の伏流水を味わうことができ、そのやわらかさに感動しました。

大正時代、若山牧水がお酒を愛飲しながら詠み残した「人の世にたのしみ多し然れども酒なしにしてなにのたのしみ」「白玉の齒にしみとほる秋の夜の酒はしずかに飲むべかりけり」などの歌が刻まれた石碑が酒蔵の入口にあり、ふと御代田にある飯玉(いいたま)の池のことが頭に浮かびました。

御代田物語(御代田町公民館発行)によると「お宮のすぐ下のところから清水が湧き出て池になっている。それが七玉の一つ飯玉である。いい水の

出るところをいい玉という。今は沢山湧いていないが、以前は大分湧いていたと聞く。水の湧いている箇所の上に鎮座しているお宮の作りはいかにも古めかしい形を伝えている」と記述されていました。

【御代田中学校の切磋琢磨】

御代田中学校の体育館に飾られている平成4年度卒業生の記念品。

前回の「湯川だより」にて、ご紹介した「まあるく生きる」の年賀状を組合事務局にお送りいただいた方が、高校の教員をされていた当時、御代田中学校で担任を務める知人教員から依頼され揮毫したものです。

校舎建て替え前は、「第2体育館」に飾られていましたので、見覚えのあるかたも多いと思います。



贈 平成四年度卒業生一同

【発行】 御代田町役場 町民課 環境衛生係
御代田町大字御代田 2464 番地 2 電話：0267-32-3111 (内線 47)
【組合問合せ先】 佐久市・北佐久郡環境施設組合 事務局
佐久市中込 3056 番地(佐久市役所内) 電話：0267-62-2916